

宮城県日中友好協会

TEL・FAX 022-274-3811

E-メール jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

ホームページ <https://miyagi-jcfa.com/>



2月、(如月 きさらぎ)。年明け早々能登半島大震災が起こり、ニュースを見るたびに12年前の記憶が蘇ってくる。電気、水道が止まり食事もままならず、雪空の下2時間ぐらい足踏みをしながら給水を待っていたのを思い出す。宮城県・仙台市から災害復旧のため職員が派遣されているが、被災された皆さんの健康を第一に考え、一日も早い復旧を願うばかりです。

1. 2月の行事予定

日 時	行 事 名	場 所
2月 3日 (土)	大河原日中友好協会「総会並びに新春の集い」 総会：12：00～、新春の集い：13：00～ 会費：3000円	和洋亭ぶざん ㄨ切：1月29日
2月 9日 (金)	東北地区中国学友会「春節祭」17：00～22：00	東北大学国際交流会館三条第一会館
2月10日 (土)	石巻地区日中友好協会「春節祝賀会」12：00～15：00 会費：6000円、中国の方：3000円。 ㄨ切：2月1日	石巻グランドホテル
2月17日 (土)	仙台市日中友好協会定期総会並びに懇親会 10：30～	宮城自治労会館
2月18日 (日)	富谷市日中友好協会「新年会」10：00～12：00、 水餃子作り：10：00～、新年会：12：00～。 会費500円 300円程度の景品持参	富ヶ丘公民館
2月23日 (金)	青年委員会「元宵節を祝う会」14：00～	仙台国際センター研修室AB

2. 女性委員会で大使夫人と懇談 (女性委員会 水戸 憲子)



12月11日、全国女性委員会役員会・懇親会が東京・上野の「海底捞」で行われました。

これには丁月・駐日大使夫人、新任の田島孝子全国委員長、前任の石黒かほるさん等が出席し、宮城からは水戸憲子女性委員長が参加しました。

丁夫人は「これからも日本と中国の友好的な発展のために共に力を合わせてまいりましょう」との挨拶がありました。

3. オンライン「第2回日本語発表会」(オンライン交流推進委員会 横山弥生)

オンライン交流推進委員会では、12月17日(日)14時～15時45分、日本語発表会を開催しました。

出場者は中国国内から2名、仙台から東北大学の中国人留学生が3名、それぞれの場所からzoomに接続しました。また、聴衆は、中国国内1名、広島県から1名、東京から1名を含む約55名でした。

運営は、自宅からのホスト運営1名と県民会館会議室から4名のスタッフで運営しました。

最優秀賞には王俞茜さん、聴衆賞には陳泓宇さんが選ばれました。今回、宮城県国際政策課から参加費として結び丸のクリアファアルを、最優秀賞の副賞として雄勝石のコースターをいただき、郵送しました。原文のままですが、王さんの原稿を掲載します。

皆さん、こんにちは。東北大学国際文化研究科修士2年の王俞茜です。本日は「宮城県での秋の思い出」をテーマとして発表させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

ほんの少し湿気が少なくなってきた朝の風、空を見たらちぎれてうろこ状になってきた雲、赤や黄色に染め上げられてきた葉っぱ、変わってきた店の看板メニュー…そんな風に秋はいつの間にか隣にやってきます。そして、その景色を見た瞬間にふっと気がつきました、私が宮城県、仙台に着いたのもちょうど一年が過ぎたのだ。

宮城県で体験した最初の季節として、秋は私にとって少し特別な存在です。なぜかというと、初めて国を離れて一人暮らしの生活で感じた寂しさと、空が晴れ渡り花々が咲き誇り、美しい景色ながらもどこか漂わせる秋ならではの寂しさと、なんとなくかぶるからでしょう。だがそれがゆえに、ここに住んでいる一年間、宮城の秋が一番記憶に残り、恋しくなりました。

宮城の秋の中で、私が通っている東北大学川内キャンパス、そこにあるメタセコイア並木が最も恋しい景色です。秋風にそよぐメタセコイアの葉は、まるでオレンジ色の雨粒が宙を舞っているかのよう。一本一本のメタセコイアが見事な整列を見せて、その美しいアーチが青空と調和し、いつも私を癒やしてくれます。そして、毎回メタセコイアの下を歩くたびに、秋の深まりを実感することができて、忙しい生活に追われる心も安らげます。

秋の風物詩といえば紅葉。宮城の秋も紅葉の美しさに包まれて、何とも言えない魅力にあふれています。その中でも、鳴子峡の紅葉はまさに絶景の中の絶景。11月5日、JR鳴子温泉駅から中山平温泉駅間で鳴子峡行きの臨時バス「紅葉号」運行の最終日、私は鳴子峡の紅葉を見に行きました。彩り豊かな紅葉の中に断崖絶壁が広がって、鳴子峡の景観に溶け込む大深沢橋。その景色を「鳴子峡レストハウス」にある見晴台で見た瞬間、まるで絵画の中に自分が迷い込んでしまったような錯覚に襲われて、ため息が出るほどうっとりしてしまいました。午後、レストハウスを起点とした大深沢遊歩道を散策すると、紅葉が地面に落ちて、まるで色とりどりの絨毯が大地を覆ったかのように美しさを醸し出しています。その美しい景色にただただ見惚れてしまいます。

秋は食欲の秋です。「石焼き芋～」と夜、こんな売り声が聞こえたら、「秋が来た」ということをますます実感できるでしょう。甘く煮た芋や焼き芋、そして芋を使用したスイーツ。秋の夜には、その芋の香りが街中に広がって、秋の風物詩といっても過言ではない風景だろうと思います。前日の夜、お腹がすいて急いで家に向かった時、晩翠通りの町に焼き芋を売るキッチンカーと出会いました。その香りに惹かれた私はすぐ芋を一つ買って、慌てて皮を剥いてから一口噛みました。すぐほっこりとした甘さが口の中に広がって、寒さを感じる秋の夜を少し温かなものに変えてくれるじゃないかというふうに心身ともに温められました。

宮城の秋は私が体験した初めての季節で、ある意味私が宮城に対する第一印象となって、たくさんの思い出を生み出す時期もなっています。来年の春私は卒業を迎え、宮城を離れるが、ここで暮らしている記憶は忘れません。そして、来年、再来年、今後の秋私はまた宮城に訪ねたいです。その時に私がこう言います「ただいま、宮城。」

発表は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

4. ルウオ・ジャチン&中野リナ デュオリサイタルのご案内

2023年3月号(第196号)でもご案内した第8回仙台国際音楽コンクールのピアノ部門で優勝した中国出身のルウオ・ジャチンさんが、バイオリン部門で優勝した中野リナさんと今回デュオリサイタルを開催することになりましたので、ご案内いたします。

ルウオ・ジャチンさんの発表会については宮城県日中友好協会も後援しています。

日時：2024年3月31日(日) 13:30会場、14:00開演

場所：日立システムズホール仙台(仙台青年文化センター)コンサートホール

チケット情報：全席指定 税込 S席：3500円、A席：2500円

詳細は仙台市市民文化事業団(022-727-1875)にお問い合わせいただければと思います。

また、宮城県日中友好協会のHPにも掲載しておりますので、関心のある方は是非ご鑑賞お願い致します。